

令和6年度 大型クラゲ情報(第11号)

福井県大型クラゲ対策連絡会議

【事務局：福井県農林水産部水産課】

TEL：(0776)-20-0436

本情報取りまとめ担当

福井県水産試験場 海洋資源研究センター

TEL：(0770)-26-1331

FAX：(0770)-26-1379

福井丸による曳航式ビデオカメラ調査を実施しましたので
結果をお知らせいたします。

1. 福井丸による調査結果(10月6～7日)

○調査方法

ビデオカメラを搭載した曳航枠(幅2m、図1)を海底まで沈め約1.5ktで曳航し、海底を撮影して大型クラゲを観察しました。調査地点は図1に示した5地点としました。調査地点①、②は6日に、③～⑤は7日に調査を行いました。

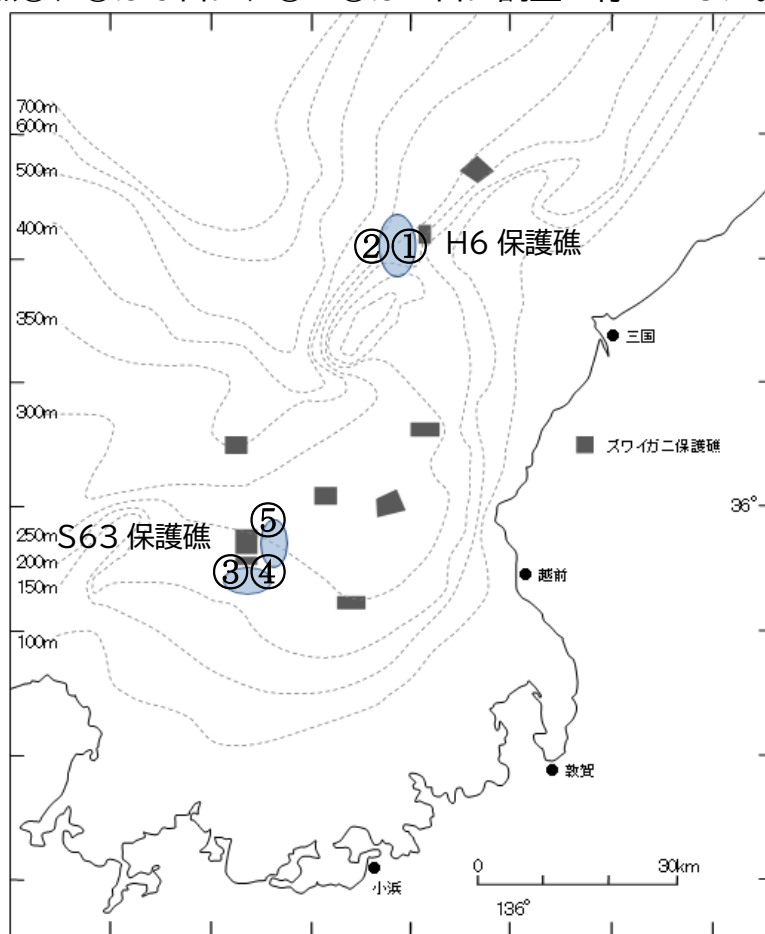


図1 調査地点

○結果

調査結果は表 1 のとおりです。各地点で 1～4 個体が確認されましたが、多くが断片で、完全な個体は 2 個体のみでした。1ha 当たりの密度は平均 4.4 個で、令和 3 年と同程度でした（表 2）。令和 3 年は底曳網へ平均 19 個/網程度の入網があったことから、今年も同程度（20 個/網）の入網が予想されます。対策網の使用などの対策を検討してください。

表 1 曳航式 VTR 調査結果（10 月 6～7 日）

調査地点	水深(m)	曳航距離 (マイル)	確認個数		1ha あたり の個数
			完全な個体	断片	
①	279～299	1.47	1 (約 60cm)	3 (約 20～40cm)	7.4
②	278～303	1.63	0	1 (約 20cm)	1.7
③	233～240	1.01	0	3 (約 40～80cm)	8.0
④	244～250	1.08	0	1 (約 40～50cm)	2.5
⑤	262～266	1.02	1 (約 60cm)	0	2.7
合計		6.21	2	8	4.4

表 2 過去の調査結果との比較

調査年度	調査結果(個/ha)	底曳網漁への入網数(1 網当たり)
平成 17 年	7.3	～数十個（最大約 100 個）
平成 18 年	14.3	～数十個（最大約 100 個）
平成 19 年	0.4	～20 個（最大約 50 個）
平成 21 年	10.4	～数十個
令和 3 年	4.8	平均 19 個（最大 150 個）
令和 6 年	4.4	—

2. 他県での主な入網状況（図 2、JAFIC 大型クラゲ出現情報より作成）

①対馬海峡～中西部日本海の底曳網での入網状況

9 月中旬以降、入網数は減少傾向にあります

9 月 1～7 日	20～150 個/網（約 50～200cm）
9 月 8～14 日	30～250 個/網（約 50～200cm）
9 月 15～21 日	0～150 個/網（約 30～180cm）
9 月 22～29 日	0～46 個/網（約 70～180cm）

②京都府の定置網での入網状況

9 月下旬以降、入網数は減少傾向にあります

9 月 18～24 日	1～100 個/日（約 50～100cm）
9 月 25 日～10 月 2 日	1～6 個/日（約 50～100cm）

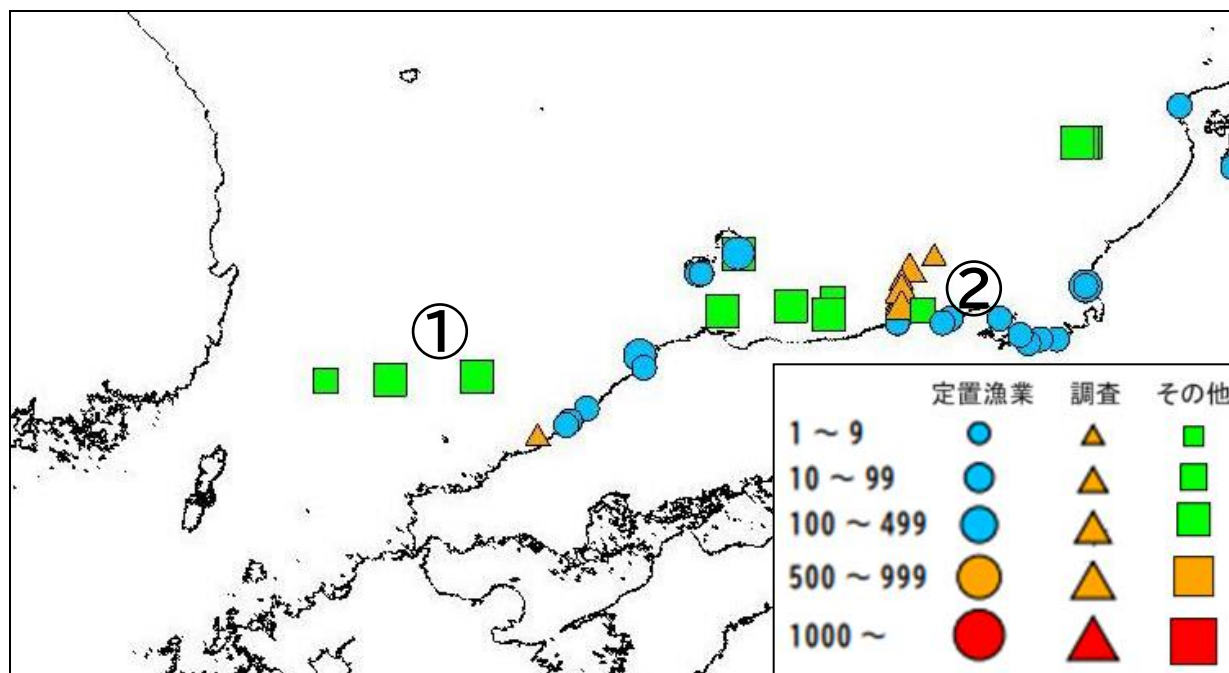


図2 全国の入網状況

3. 情報提供について

県では今後も県内、他府県、国立研究開発法人水産研究・教育機構および漁業情報サービスセンター等の大型クラゲ情報を収集し、速やかにお知らせします。

大型クラゲに関する情報がありましたら、水産試験場までご連絡頂きますようお願いします。

※各機関の発信している大型クラゲ情報へのアクセス

漁業情報サービスセンター
(JAFIC) の大型クラゲ情報
<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>



水産研究・教育機構の
大型クラゲ情報
<http://www.fra.affrc.go.jp/>



福井県水産試験場の
大型クラゲ情報
<https://www.fklab.fukui.fukui.jp/ss/>

